

株式の状況

oa SYSTEMS

■株式の状況（平成22年2月28日現在）

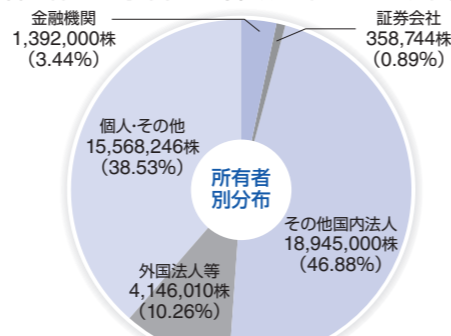
発行可能株式総数	135,000,000株
発行済株式の総数	40,410,000株
株主数	1,822名

■大株主（平成22年2月28日現在）

株主名	所有株式数	議決権比率
ステラ・グループ(株)	18,295千株	46.68%
エスアイテックスエスアイエルティー	3,601	9.18
日本証券金融(株)	699	1.78
大喜一夫	685	1.74
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	600	1.53
篠原寛	490	1.25
古井章公	326	0.83
久野英一	303	0.77
(株)ピーシーデポコーポレーション	300	0.76
楠瀬智宏	240	0.61

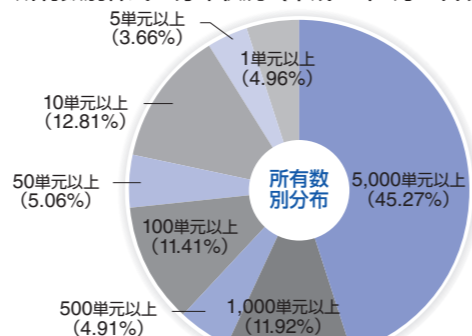
(注) 上記には含まれておりませんが、当社は平成22年2月28日現在自己株式1,216千株を有しております。

■所有者別株式の分布状況（平成22年2月28日現在）



(注) 個人・その他には自己株式1,216,700株が含まれております。

■所有数別株式の分布状況（平成22年2月28日現在）



oa SYSTEMS

株式会社オーイー・システム・プラザ

第28期報告書

(平成21年3月1日から平成22年2月28日まで)

証券コード：7491

<http://www.oasystem.com/>

■会社の概況（平成22年2月28日現在）

商号：株式会社オーイー・システム・プラザ
 本社所在地：〒460-0011 名古屋市中区大須三丁目11番19号
 設立：昭和58年4月1日
 資本金：30億700万円
 従業員数：61名

事業内容：パーソナルコンピュータ、その他関連周辺機器の販売と、これに付帯関連する事業、ならびに不動産賃貸事業、投資事業を営んでおります。

■株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第28期報告書をお届けいたします。

平成22年5月

代表取締役社長 長谷川泰規



■事業の概況

当連結会計年度における我が国経済は、世界的な不況が長期化する中、一部では生産の持ち直しや株価の回復などが見られたものの、激激な円高やデフレなどにより企業収益は依然として低迷しており、設備投資、雇用情勢、個人消費とともに、低い水準で推移するなど厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、パソコン店頭販売業界におきましては、平成21年10月に発売されたマイクロソフト社の基本OS「Windows7」の発売の効果により、業界全体における平成22年2月のパソコン出荷台数は前年同月比144.5%となりました（JEITA調べ）。また、出荷台数としては増えたものの、単価等の下落により販売金額は前年同月比95.5%（BCN調べ：全国の家電量販店のPOSデータにより集計）となるなど、景気が不透明なことから販売における状況は安定しているとは言いがたい状況です。

当社の「PC販売事業」につきましては、5万円を切る低価格パソコン（ミニノートパソコン／通称5万円パソコン）の需要がほぼ一巡したものの一定の支持を得ることができました。また「Windows7」の発売等により、通期における当社のパソコン本体の販売台数が前年比110.5%となりました。また、パソコン本体の販売に付随する周辺機器やソフトウェア、関連する技術サービスも堅調に推移し、引き続き「販売台数増効果」を得ることができました。しかし、販売単価の下落の影響により、パソコン本体の販売金額は前年比84.5%となりました。

サービス面では、お客様の「困った」を解決するパソコンクリニックを強化し、加えて平成21年4月よりモバイルデータ通信、ウィルス対策、設定やサポートなどを一括したワンストップソリューションとして提供する「イーモバイルバリューバック」の販売を開始しました。また、同年5月から家庭用ゲーム機をインターネットに接続・設定を行うサービスを開始するなどの新サービスを導入し、月額会員制保守サービス型商品（プレミアムサービス）の会員獲得に努めました。

「不動産賃貸事業」につきましては、一部テナントからの契約解除があったものの新たに契約を締結することができ、概ね計画通りに推移いたしました。

「IT・デジタルメディア・コンテンツ事業」の広告事業におきましては、国内市場の景気低迷により企業の経費削減傾向が一層強まり、広告宣伝費などの販売促進にかかる費用の圧縮などに伴い売上は減少しました。このような状況を受け、組織の再構築を行い販売管理費の削減に努めましたが、昨今の経済環境の悪化により、当社傘下では法人営業展開のシナジー効果が当初の想定より少なく、財務強化に必要となる収益基盤の構築を見込むことが困難な状況であるため、当社連結子会社である(株)ダイヤモンドエージェンシーを、平成22年1月12日付で(株)カンボマリノへ全株式を譲渡いたしました。また、これに伴いましてIT・デジタルメディア・コンテンツ事業を廃止しております。

「投資事業」は、当連結会計年度におけるIT・デジタルメディア・コンテンツ事業関連のM&A案件はありませんでした。なお、当連結会計年度において保有していた投資有価証券につきましては、特別損失として投資有価証券評価損59万円を計上しております。

以上により、当連結会計年度の業績は、売上高77億98百万円、営業利益73百万円、経常利益29百万円、当期純利益20百万円となりました。

次期の見通しにつきましては、一時の世界的な不況から脱出すると見られるものの長期化による影響が残り、設備投資、雇用情勢、個人消費とともに、低い水準で推移するなど厳しい状況が続くと思われまます。また、パソコン業界においては、エコポイント制度の継続によりマイナス傾向が続くものと懸念しております。

このような状況のもと、PC販売事業につきましては、更なる事業拡大のため年間1～2店舗程度のペースで新規出店を積極的に行いつつ、営業面においてはお客様にパソコンを安心、安全に利用していただける月額定額制の保守サービスの会員獲得に努め、同サービスによるお客様の不便や困り事を店頭で解決するなどの技術手数料収入を基軸とした販売促進策で収益率アップを図ってまいります。また、同会員向けには「緊急地震速報」の無料配信サービスを提供してまいります。商品政策面では、販売台数が堅調に推移している国内メーカー製パソコンだけでなく、10万円以下の海外メーカー製のパソコンも強化し、各種設定変更などの有償サービスの提供を行うことにより、地域のパソコン専門店として技術サービスを核に差別化を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

役員状況（平成22年5月25日現在）

株主メモ

oa SYSTEMS

代表取締役社長	長谷川 泰 規	
取 締 役	岡 田 晃 生	管理本部長 兼 総務部長
取 締 役	福 嶋 保	営業部長
取 締 役	津 田 由 行	ステラ・グループ(株) 代表取締役社長
取 締 役	上 野 孝 一	(株)プロジェ・ホールディングス 代表取締役社長
常 勤 監 査 役	藤 井 弘 之	
監 査 役	佐 藤 修 一	日新化成工業(株) 代表取締役社長
監 査 役	稲 吉 康 司	(株)プロジェ・ホールディングス 監査役
監 査 役	坂 勝 洋	坂経営労務コンサルタント事務所 代表

(注) 監査役のうち、佐藤修一、稲吉康司、坂 勝洋の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

- 事業年度 3月1日～翌年2月末日
- 定時株主総会 毎年5月
- 配当金受領株主確定日 期末配当金 2月末日
中間配当を実施する場合 8月31日
- 株式事務取扱場所 株主名簿管理人
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711（通話料無料）
- 特別口座 口座管理機関（同連絡先）
- 上場取引所 大阪証券取引所（JASDAQ市場）
- 公告掲載方法 公告は当社のホームページ（<http://www.oasystem.com/ir/>）をご覧ください。ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。
- 会計監査人 フロンティア監査法人



オーエー・システム・プラザは、創業当初より「より良いものを、より安く、より便利に」をモットーに、お客様に奉仕することから社会に貢献することを目的としています。

- そのために
 - 社員と会社の成長で社会に貢献
 - 利便性を考えた店舗運営でお客様に貢献
 - 株主様への貢献
- という3つの貢献を理念としてビジネスを展開していきます。

現在、パソコン専門店「PC DEPOT」のフランチャイズ店を中部・東北・四国・沖縄地区に10店舗展開しており、

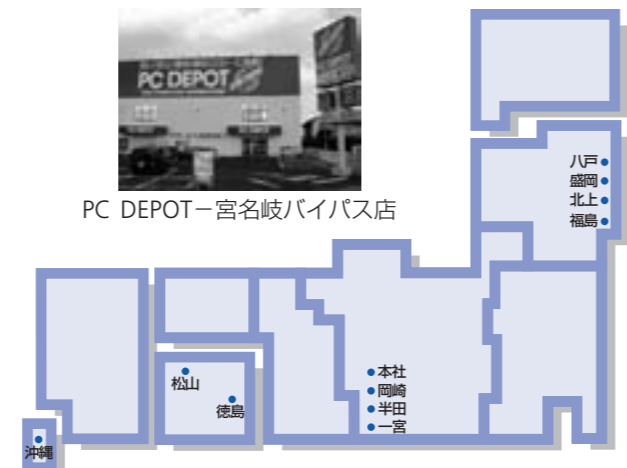
パソコンに関するお客様の「困った」を解決する「地域になくてはならないお店」を目指しております。

また、更なる事業拡大のため年間1~2店舗程度のペースで新規出店を積極的に行っております。

今後も旧来のセオリーにとらわれず、正しい判断をし、人と社会に少しでも貢献できるような取組みをしていきます。

オーエー・システム・プラザの「これから」にぜひご期待ください。

PC DEPOT 全10店舗 (平成22年2月28日現在)



- 本社 〒460-0011 名古屋市中区大須3-11-19
- PC DEPOT 八戸新井田店 〒031-0816 青森県八戸市新井田西3-2-7
- PC DEPOT 盛岡仙北店 〒020-0864 岩手県盛岡市西仙北1-20-22
- PC DEPOT 北上店 〒024-0004 岩手県北上市村崎野14地割31
- PC DEPOT 福島西店 〒960-8165 福島県福島市吉倉字前田27-1
- PC DEPOT 岡崎戸崎店 〒444-0840 愛知県岡崎市戸崎町字池下5-1
- PC DEPOT 半田インター店 〒475-0925 愛知県半田市宮本町5-329-1
- PC DEPOT 一宮名岐バイパス店 〒491-0022 愛知県一宮市両郷町3-7
- PC DEPOT 徳島店 〒770-8053 徳島県徳島市沖浜東1-13
- PC DEPOT 松山店 〒790-0051 愛媛県松山市生石町667
- PC DEPOT 豊見城店 〒901-0201 沖縄県豊見城市字真玉橋178

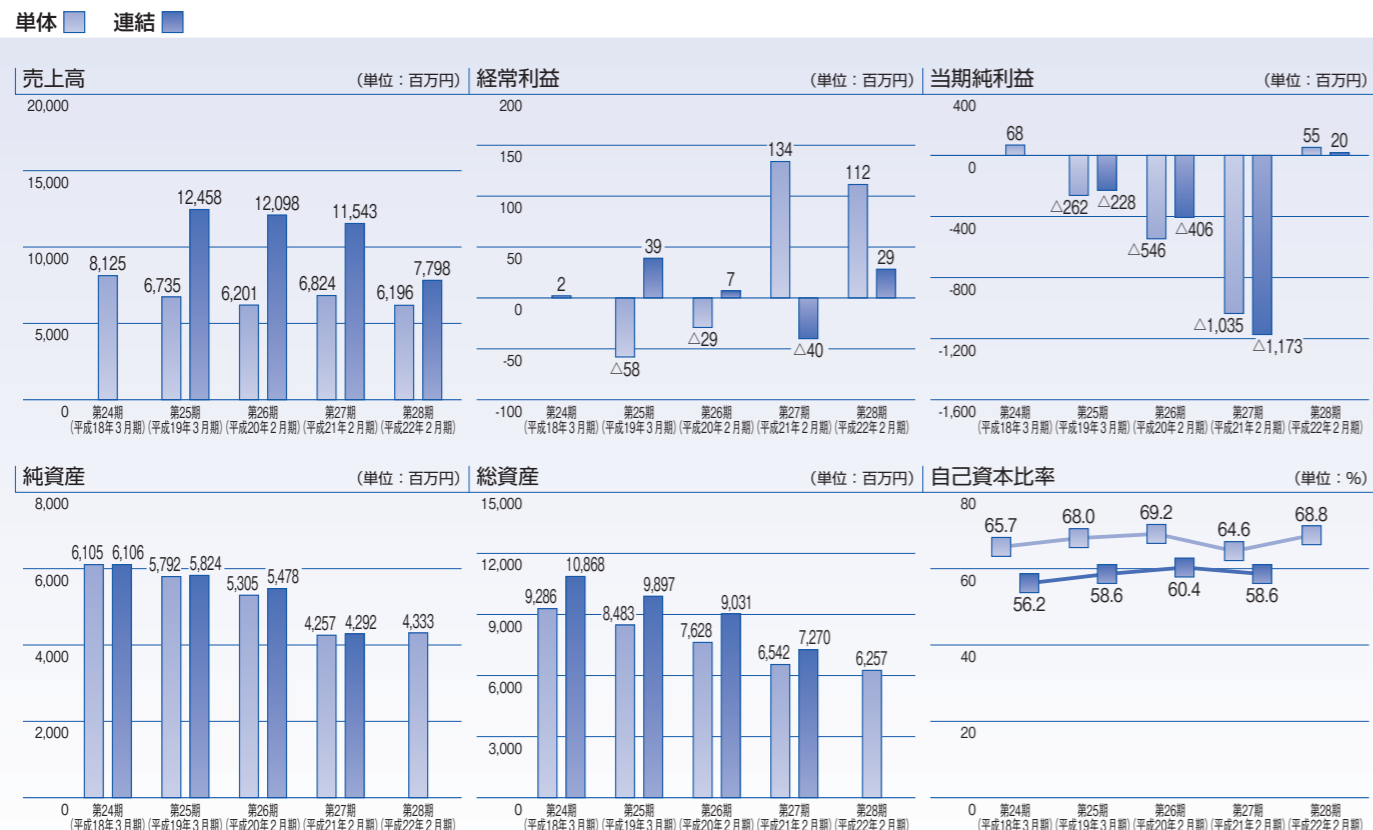
連結損益計算書

科目	(単位：千円)	
	当期 (平成21年3月1日から 平成22年2月28日まで)	前期 (平成20年3月1日から 平成21年2月28日まで)
売上高	7,798,413	11,543,551
売上原価	6,221,772	9,216,397
売上総利益	1,576,640	2,327,153
販売費及び一般管理費	1,503,538	2,312,114
営業利益	73,102	15,038
営業外収益	9,211	16,265
営業外費用	53,002	71,795
経常利益又は経常損失(△)	29,310	△40,491
特別利益	55,810	13,111
特別損失	61,069	1,150,565
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	24,052	△1,177,944
法人税、住民税及び事業税	7,062	19,425
過年度法人税等	△3,521	△23,389
当期純利益又は当期純損失	20,511	△1,173,980

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	(単位：千円)	
	当期 (平成21年3月1日から 平成22年2月28日まで)	前期 (平成20年3月1日から 平成21年2月28日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△100,799	341,606
投資活動によるキャッシュ・フロー	57,974	111,984
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128,185	△245,328
現金及び現金同等物の増減額	△171,010	208,263
現金及び現金同等物の期首残高	1,462,151	1,253,888
現金及び現金同等物の期末残高	1,291,141	1,462,151

連結子会社であった(株)ダイヤモンドエージェンシーは、平成22年1月12日付で全株式を譲渡しております。同じく(株)オーパ(旧(株)パナッシュ)は、平成21年9月18日をもって会社の清算を終了しております。同じく(株)ディーアンドオール・インテグレイツは、平成21年3月2日付で全株式を譲渡しております。以上により連結子会社であった3社は連結の範囲から除外し、連結子会社がなくなったため、連結貸借対照表は作成しておりません。



(注) 1. 平成19年3月期より連結損益計算書を作成しております。
2. 平成20年2月期は決算期変更により11ヵ月の変則決算となっております。
3. 平成22年2月期は期中の子会社譲渡により、連結貸借対照表を作成しておりません。

貸借対照表

科目	(単位：千円)	
	当期 (平成22年2月28日現在)	前期 (平成21年2月28日現在)
資産の部		
流動資産	2,662,839	2,275,306
固定資産	3,594,529	4,266,898
有形固定資産	2,696,152	2,730,634
無形固定資産	4,186	25,177
投資その他の資産	894,190	1,511,087
資産合計	6,257,368	6,542,204
負債の部		
流動負債	1,100,932	1,338,972
固定負債	823,126	945,474
負債合計	1,924,059	2,284,447
純資産の部		
株主資本	4,306,262	4,251,196
資本金	3,070,080	3,070,080
資本剰余金	1,235,632	2,270,757
利益剰余金	55,087	△1,035,125
自己株式	△54,537	△54,515
評価・換算差額等	—	△24,606
新株予約権	27,047	31,167
純資産合計	4,333,309	4,257,757
負債及び純資産合計	6,257,368	6,542,204

損益計算書

科目	(単位：千円)	
	当期 (平成21年3月1日から 平成22年2月28日まで)	前期 (平成20年3月1日から 平成21年2月28日まで)
売上高	6,196,740	6,824,824
売上原価	4,765,503	5,290,066
売上総利益	1,431,237	1,534,758
販売費及び一般管理費	1,281,645	1,354,286
営業利益	149,591	180,471
営業外収益	8,176	11,567
営業外費用	45,321	58,022
経常利益	112,445	134,016
特別利益	58,717	—
特別損失	109,515	1,158,032
税引前当期純利益又は税引前当期純損失	61,647	△1,024,015
法人税、住民税及び事業税	10,966	11,110
過年度法人税等	△4,405	—
当期純利益又は当期純損失	55,087	△1,035,125